

# 令和5年昭島市教育委員会第10回定例会 議事録

日時：令和5年10月19日

午後2時30分～午後3時41分

場所：市役所 市民ホール

昭島市教育委員会

aaa○教育長（山下秀男） 皆様、こんにちは。定刻になりましたので、ただいまから、令和5年昭島市教育委員会第10回定例会を開会いたします。

本日の日程につきましては、お手元に配布のとおりであります。

なお、本日は、説明員のうち、野口明彦教育総務課長から欠席の届出がありましたのでこれを受理いたしました。

初めに、日程2、前回の会議録の署名につきましては、既に調整を終え、署名もいただいておりますので、御了承願います。

次に、日程3、教育委員会会議規則第16条の規定に基づく、本日の会議録署名委員につきましては、4番、松本委員、5番 眞如委員でございます。よろしくお願いいたします。

次に、日程4、教育長の報告に移ります。

このところ、朝夕はぐっと気温が下がりがちで、晩秋を思わせる時もありますが、日中は夏日や、これに近い気温の日もあるなど、寒暖の差が一段と激しくなっております。体調を崩しやすい時期、皆様には御自愛いただきたいと思います。

さて、小中学校の2学期が始まって、はや、1カ月半余りが経過をいたしました。コロナ第9波の中でのスタートでありましたが、第9波は、すでにピークアウトしたと言われておりまして、実際、小中学校においても、9月半ば以降は、コロナによる学級閉鎖等が出ていない状況にあります。しかしながら、インフルエンザに関しましては、先月に引き続き、今月も学級閉鎖が度々出ている状況にありまして、東京都では、流行注意報の基準である定点当たり10.0人という数字を大きく上回り、直近の報告では16.44人とのことであります。これから、ますます寒くなってくるので、さらなる流行を心配しております。とにかく、学校においては、換気や消毒、マスクの着脱など、基本的な感染防止対策を忘れずに、感染拡大防止に努めるよう、今月の校長会、副校長会においても改めて周知をしたところであります。

次に、学校行事についてであります。9月3日に拝島中学校の3年生から始まりました修学旅行につきましては、10月5日の瑞雲中学校3年生の帰校をもって、全中学校において無事に実施することができました。

また、秋に予定をしておりました、小学校11校の運動会も、あさって土曜日、21日に富士見丘小学校と、玉川小学校の実施をもって、全ての小学校において無事に実施という状況であります。全てが半日の実施ということで、これが定着しつつありますが、児童生徒の躍動する姿が見られるということが、コロナ禍を経た今だからこそ、より一層、ありがたく、嬉しく思ったところであります。教育委員の皆様にも足をお運びいただきまして、ありがとうございました。

今後も、10月21日の土曜日には、つつじが丘小学校において、ステージフェスティバルの実施を予定しているほか、本日からの拝島中学校の合唱コンクールをはじめとして、順次、各中学校の合唱コンクールを予定しております。

さらに、11月9日には、小学校の音楽会を予定しているなど、各種行事がまだまだ続きます。またこちらも、今週21日の土曜日になりますが、特別支援教育の市民向け講演会をアキシマエンスにて予定しております。引き続き、よろしくお願いいたします。

次に、教育委員会による学校訪問についてであります。

来月、11月1日の水曜日に、玉川小学校と光華小学校への学校訪問を予定しております。改めまして、御予定いただくよう、よろしく願いいたします。

次に、第3回市議会定例会についてであります。

先月、9月29日の本会議をもって無事閉会となりました。本日は、今会期中の補正予算審査特別委員会にて審査をされ、議決を得た教育委員会関係の補正予算について、後ほど報告をさせていただきます。

次に、予算編成関係について申し上げます。先般、令和6年度の予算編成方針が示され、新年度の予算編成が始まりました。新年度におきましては、コミュニティスクールの拡充に向けた予算、水泳指導民間活用事業の拡充に向けた予算対応など、本年度の実施状況を検証、評価した上で、拡充の是非、予算対応について決定していきたいと考えております。

また、学校施設の適切な維持管理に向けまして、現在進めております学校建物の耐力度調査の結果を基に、大規模改修や、更新に向けた予算対応など、時期が集中しないようになるべく平準化を図っての予算対応について検討を深めてまいりたいと考えております。

そのほか現在、私会計で運用しております学校給食費会計につきましては、透明性と公平性の向上を図ることなどを視点とした市の一般会計化、いわゆる公会計制度への移行支援も検討を深めてまいりたいと考えておりますので、あわせて御承知おきをいただきたいと思っております。

次に、いじめ不登校の数が過去最多を更新し、自殺も増加しているとの報道がありました。複雑な社会、また家庭環境の背景にあることや感染症の影響など、様々な要因と考えられますが、学校においては、これまでの取組をしっかりと行い、場合によっては見直しを図りながら、学校いじめ対策委員会を実効性のあるものとして、ぜひ生かしていただくよう校長会、副校長会において受託をしたところであります。

最後になりますが、市民文化祭についてであります。10月4日から11月3日までの約1カ月の期間で、FOSTERホール、公民館において市民文化祭を開催中であります。文化芸術の秋にふさわしい市の大きなイベントの1つであり、多くの皆様の御来場を期待しております。ぜひ足を運んでいただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

私からの報告は以上となります。

なお、教育委員会名義の使用承認につきましては、お手元の資料のとおり、9件であります。

ただいまの報告について、御意見、御質問等ございましたらお願いしたいと思います。

よろしいですか。それでは、以上で日程4を終わります。

それでは、日程5の議事に入ります。

初めに、議案第19号「昭島市教育委員会表彰被表彰者について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

○学校教育部長（高橋功） 議案第19号「昭島市教育委員会表彰被表彰者について」御

提案申し上げます。

本件につきましては、昭島市教育委員会表彰規定第8条に基づき昭島市教育委員会表彰審査委員会を9月28日に開催し、慎重に審査をした結果、令和5年度昭島市教育委員会表彰被表彰候補者を教育委員会に推薦するものです。

議案第19号の後ろに昭島市教育委員会表彰規程をおつけしております。

被表彰候補者につきましては、この表彰規程、表彰基準に該当した方々でございます。

それでは、各被表彰候補者について、推薦調書により御説明させていただきます。

はじめに、表彰基準第2条関係、児童生徒等の表彰でございます。

推薦調書1ページを御覧ください。中神小学校第4学年、郡向日葵さんです。表彰該当事由が、昭島市教育委員会表彰基準第2条第3号エ、公的機関が後援する東京都規模の大会等で優勝、最優秀賞等の最高賞を得たものです。公益財団法人「全日本空手道連盟」等が後援する、「第二回東京都マイベスト空手道大会」形競技、小学4年から6年生女子、無級から6級の部に出場し、優勝いたしました。

2ページを御覧ください。昭和中学校、第1学年渡辺直子さんです。表彰該当事由が、表彰基準第2条第3号ア、公的機関が主催する全国規模又は関東規模の大会等に出場したものです。「関東中学校体育連盟」等が主催する、「第47回関東中学校水泳競技大会」女子200m背泳ぎに出場いたしました。

3ページを御覧ください。清泉中学校、第1学年、小林想菜さんです。表彰該当事由が、表彰基準第2条第3号ア、公的機関が主催する全国規模又は関東規模の大会等に出場したものです。「関東中学校体育連盟」等が主催する、「第47回関東中学校水泳競技大会」女子400m自由形の部に出場いたしました。

4ページを御覧ください。瑞雲中学校、第2学年、中川湧統さんです。表彰該当事由が、表彰基準第2条第3号ウ、公的機関が主催する東京都規模の大会等で上位3位相当の賞を得たものです。公益財団法人「東京陸上競技協会」が主催する、「第35回東京ジュニア陸上競技大会」、1・2年男子砲丸投に出場し、第1位を受賞いたしました。

5ページを御覧ください。昭和中学校、第3学年、安藝初音さんです。表彰該当事由が、表彰基準第2条第3号ア、公的機関が主催する全国規模又は関東規模の大会等に出場したものです。「関東中学校体育連盟」等が主催する、「第47回関東中学校水泳競技大会」女子50m自由形の部に出場いたしました。

6ページを御覧ください。瑞雲中学校、第3学年、佐藤まどかさんです。表彰該当事由が、表彰基準第2条第3号ウ、公的機関が主催する東京都規模の大会等で上位3位相当の賞を得たものです。公益財団法人「東京陸上競技協会」が主催する、「第35回東京ジュニア陸上競技大会」3年女子100mハードルに出場し、第2位を受賞いたしました。

7ページを御覧ください。瑞雲中学校、第3学年、土江華さんです。表彰基準第2条第3号ウ、公的機関が主催する東京都規模の大会等で上位3位相当の賞を得たものです。公益財団法人「東京陸上競技協会」が主催する、「第35回東京ジュニア陸上競技大会」女子共通ジャベリックスローに出場し、第3位を受賞い

たしました。

8 ページを御覧ください。清泉中学校、第3学年、清水一希さんです。表彰基準第2条第3号ア、公的機関が主催する全国規模又は関東規模の大会等に出場したものです。「関東中学校体育連盟」等が主催する、「第47回関東中学校水泳競技大会」男子50m自由形に出場いたしました。

9 ページを御覧ください。清泉中学校、第3学年、田畑颯さんです。表彰基準第2条第3号イ、公的機関が後援する全国規模又は関東規模の大会等で入賞したものです。「新潟県」等が後援する、「第41回JSBA全日本スノーボード選手権大会 SNOWBOARDCROSS（スノーボードクロス）」U-15女子の部に出場し、第1位を受賞いたしました。

続きまして、表彰基準第3条関係、個人及び団体の表彰でございます。

10 ページを御覧ください。小高未織さんです。表彰基準第3条第2号ウ、全国規模の大会で入賞したものです。公益財団法人「全国高等学校体育連盟」等が主催する、「令和5年度全国高等学校総合体育大会」テニス競技女子シングルスに出場し、優勝いたしました。

次に、職員の表彰についてです。

表彰該当事由が表彰基準第4条第2号、昭島市教育委員会が委嘱する非常勤特別職として4年以上勤務し、退職された方々です。

11 ページを御覧ください。山川博生さんは、15年7カ月にわたり、昭和中学校の学校医としてお務めいただきました。

12 ページを御覧ください。真山孝さんは、42年にわたり、多摩辺中学校他1校の学校歯科医としてお務めいただきました。

13 ページを御覧ください。真山優子さんは、40年にわたり、田中小学校の学校歯科医としてお務めいただきました。

14 ページを御覧ください。山本莊太郎さんは、30年にわたり、瑞雲中学校の学校薬剤師としてお務めいただきました。

15 ページを御覧ください。山本和子さんは、29年2カ月にわたり、瑞雲中学校他2校の学校薬剤師としてお務めいただきました。

16 ページを御覧ください。大都千賀子さんは、11年にわたり、福島中学校他1校の学校薬剤師としてお務めいただきました。

以上、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○教育長（山下秀男） 議案第19号について、説明が終わりました。本件に対する質疑、意見をお受けいたします。

なお、昭島っ子の活躍ということで、教育青少年だより「エール」に記載をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは、お諮りいたします。本件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり）

○教育長（山下秀男） 御異議なしと認め、議案第19号は、原案のとおり決しました。次に、議案第20号「昭島市奨学金等支給条例に基づく奨学生の決定につい

て」は、前回の定例会におきまして決しましたとおり、審議過程において個人情報を取り扱うこととなりますので、教育委員会会議規則第2条ただし書きの規定によりまして非公開とさせていただきます。既に非公開による審議を済ませ、原案どおり決したところでございます。

次に、報告事項に入ります。

初めに、報告事項(1)「令和5年度昭島市一般会計第4号補正予算〈教育委員会関係〉について」事務局より説明をお願いします。

○学校教育部長（高橋功） 報告事項1「令和5年度昭島市一般会計第4号補正予算〈教育委員会関係〉」について御報告いたします。

報告資料1を御覧ください。

昭島市一般会計第4号補正予算につきましては、令和5年第3回昭島市議会定例会に提案し、9月19日に議決されたものです。

歳入につきましては、市内企業より創立70周年を記念しての寄附がございましたことから、1,000万円を増額したものです。

歳出につきましては、歳入におけます寄附金を活用した熱中症対策用簡易テント購入のため、小学校費及び中学校費合わせて1,200万円を増額計上したものです。

報告は以上でございます。

○教育長（山下秀男） 報告事項(1)について、説明が終わりました。本件に対する質疑、意見をお願いいたします。

よろしいですか。特にないようですので、以上で報告事項(1)を終わります。

次に、報告事項(2)「令和5年度「未来をひらく発表会」実施報告について」事務局より説明をお願いします。

○指導主事（佐藤誠） 令和5年度「未来をひらく」発表会について、実施報告いたします。

令和5年9月9日、土曜日に、昭島市役所1階市民ホールにおいて、令和5年度「未来をひらく」発表会を、開催いたしました。

内容は、教育委員会挨拶、第1部「第11回中学生英語スピーチコンテスト発表」、第2部「第41回子どもの主張意見文コンクール 表彰及び発表」、第3部「第11回中学生英語スピーチコンテスト審査結果発表及び表彰」「まとめ」でございます。

第1部では、中学生が日ごろ感じていることや思っていることについて、英語によるスピーチを行いました。発表会当日は、スピーチ発表を行った15名に対して、3名の審査員による審査をしました。

第2部では、小学生や中学生が、明日の昭島市を思い、明るく創造的な主張や意見について文章で表現したことを発表しました。発表会当日は、最優秀賞及び優秀賞を受賞した6名の児童・生徒が発表を行いました。

第3部では、中学生英語スピーチコンテストの審査結果を発表するとともに、受賞者の表彰を行いました。

それぞれの受賞者及び入賞者の名前や作品名等につきましては、資料を御覧ください。

発表会の最後には、紅林委員から、まとめのお言葉を頂戴しました。当日に発表した児童・生徒の発表内容や表現力について温かく認めていただき、日ごろの学びや努力につきましても、改めて価値付けていただきました。御協力をいただき、ありがとうございました。

今年度の発表会当日の参加者は、合計で 111 名でございます。

来場者からいただいたアンケートには、「子どもたちの貴重な経験となるととても素晴らしい発表会でした。」「生徒の堂々とした姿に感動しました。」「市民の方々にももっと知ってほしいと思います。」「多くの子どもや大人たちにぜひ見て、聴いてもらいたいです。」などの御意見がございました。

より多くの方々に参加していただけるよう、引き続き発表会の周知方法等を検討してまいります。

以上、簡略な説明ではございますが、報告とさせていただきます。

○教育長（山下秀男） 報告事項(2)について、説明が終わりました。本件に対する質疑、意見をお願いいたします。

コロナが5類に移行したことに伴って、制限を加えずの開催ができたこともありますし、111名ですから本当に多くの来場を得て、子どもたちも本当に真摯に向き合うというか考えて堂々と発表する姿というのは本当に嬉しく思っていますし、これがやっぱり子どもたちの真の姿なんだなということを改めて感じたところであります。

教育委員の皆様にも御出席をいただきまして、最後は紅林委員のほうから閉会の言葉をいただきまして、気持ちが込められた講評を本当にありがとうございました。また引き続き、もっともっと多くの人にこの発表を知っていただきたいということで、周知をはかっていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員（紅林由紀子） ありがとうございます。1点だけ思い出してしまひまして、この発表会自体、スピーチコンテストのほうも、意見文コンクールのほうも本当に素晴らしい、子どもたちが自分の頭で考えて、いろんなことに問題意識を持って、それをどうしていったらいいのかということ、自分で考えて発表している様子が、とても頼もしくも感じられましたし、私たち大人もしっかりしていかなくちゃいけないなというふうに感じました。

1点だけ、当日感じたことなんですけれども、スピーチコンテストの賞が2つあるんですけれども、賞の名前が、「ファーストプライズ」、「セカンドプライズ」じゃなくて、「アウトスタンディング」とか、ちょっとわかりにくい名前、子どもたちは、どっちのほうが一番優秀賞かっていうことをわかっていたのかな、と。発表の瞬間に、「あー」みたいな感じで、わかっているのか、わかっていないのかなっていう印象を受けたので、本人たちがわかっているんだっけらしいんですけれども、できれば、会場にいらした皆さんも、どっちのほうがどんな賞なのかっていうことがわかったほうがより親切だったかなというふうに感じま

した。

すいません、ちょっと、急に思い出してしまいました。

○教育長（山下秀男） ありがとうございます。ちょっとそのところは検討の余地があると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

ほかにございますか。よろしいですか。

○教育長（山下秀男） 眞如委員。

○委員（眞如むつ子） 感想みたいなもので、本当にありがとうございます。長く続いていることを考えますと、その間、事務局がどんどん変わっているの、その一番大事なところを伝えていくというのがすごく大事なのかなと思って、先日も参加させて見させていただいたんですけれども、それがしっかりできているので、今後も、ぜひ子どもたちの、小学校、中学校の子どもたちの気持ちが続いていくように、やっていただけたらありがたいなというそういう思いを持っております。ありがとうございます。

○教育長（山下秀男） はい、ありがとうございます。事務局もその辺をよく受け止めながらお願ひしたいと思います。

ほかございますか。よろしいですか。それでは以上で、報告事項(2)を終わります。

報告事項(3)「令和5年度 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査（東京都統一体力テスト）の結果について」事務局より説明をお願いします。

○指導主事（佐藤誠） 報告事項(3)「令和5年度 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査（東京都統一体力テスト）の結果について」御報告いたします。

本調査の目的は東京都の児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握・分析することにより、児童・生徒の体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、これらの取組を通じて、学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立することです。

調査結果の概要について説明いたします。網掛けの部分が東京都の平均を上回っている数値です。

小学校では、握力、上体起こし、長座体前屈において、中学校では、長座体前屈、50M走において、多くの学年で東京都の数値を上回っています。小学生、中学生ともに、長座体前屈において多くの学年で東京都の数値を上回っており、柔軟性が優れています。

一方、小学校では、反復横跳び、シャトルラン、50M走、立ち幅跳びにおいて、多くの学年で東京都の数値を下回り、敏捷性や持久力、瞬発力及び跳能力を伸ばすことが課題です。また、中学校では、握力、上体起こし、反復横とび、シ



ャトルラン、立ち幅とび、ボール投げにおいて、多くの学年で東京都の数値を下回り、筋力を高め、俊敏性や持久力、瞬発力、跳躍力、投力を伸ばすことが課題です。

令和4年度の昭島市の結果と比較すると、小学校では、握力、シャトルラン、50M走、立ち幅とびで、中学校では、シャトルラン、50M走において、多くの学年で数値が下回っています。

体力合計点は、小学校第3、4学年男子、中学校第1学年女子は令和4年度の結果を上回っておりますが、それ以外の学年は下回っています。

各種目の個人の記録に応じて1から10点で評価し、合計した得点である総合評価を、年齢に応じた一定の得点で5段階に分類したA層からE層の人数の割合を見ますと、令和5年度の本市の小学校のD、E層は36.0%で、令和4年度より4.2%増加しており、D、E層の底上げが課題です。

中学校においては、令和5年度の昭島市のD、E層の割合は29.6%で令和4年度より2.1%増加し、令和3年度から令和4年度の増加率を上回っているため、D、E層の底上げが引き続き課題です。

次に、今後の対策について説明いたします。

始めに、体力合計点についてです。

小学校においては、俊敏性や持久力、跳躍力等に課題があることから、低学年の段階から、運動に遊びの要素を取り入れ、ジャンプやサイドステップを校庭や体育館を走りまわりながら行うサーキットトレーニングなど、楽しく取り組みながら体力を高める工夫を行い、家庭とも連携して体を動かす機会を多くつくる必要があります。中学校においては、筋力や俊敏性、持久力、投力等に課題があることから、素早く動くステップを取り入れた運動やスクワット、腕立てなどの筋力を高める運動等を行う体づくり運動を通して体を動かす楽しさを味わわせ、投げる活動を十分に取り入れるなど、様々な運動に取り組む機会を設ける必要があります。

元気アップガイドブックの活用につきましては、引き続き各学校で今後の取組目標を定め、体育の授業に元気アップガイドブックに掲載してある運動を取り入れながら、児童・生徒の体力向上に繋がる取組を推進してまいります。

また、学級活動等においても、児童・生徒が調査結果を元気アップガイドブックに貼り、振り返る時間をつくり、自ら体力向上に向けた取組の目標を立てるとともに、元気アップガイドブックには、体力テストと関わりが深い、家庭でも簡単に行える運動が掲載されていることも紹介するように、指導してまいります。

以上で、報告を終わります。

○教育長（山下秀男） 報告事項(3)について、説明が終わりました。本件に対する質疑、意見をお願いいたします。

松本委員。

○委員（松本芳之） ちょっとわからないので教えていただきたいんですが、ABCD層というのは、多分Aが一番いいんじゃないかというふうに思うんですけども、これは何を基準に決めているのか、つまり、どこかに基準があらかじめ存在している

のか、都が公表しているとか、全国に、文科省が決めているそこに当てはめているとか。絶対評価っていうのは、要するに相対評価、その年のこう、なんて言うのかな、偏差値型のように切るんじゃないかと、あらかじめ基準が存在しているように思えるのですが、間違っていますか、ということです。

それから2番目は、層の人数の分け方っていうのは、基本的に正規分布型で切っていくのか、体力であっても基本的にはこう、なるべくこうなっちゃいます。

でも、それだと、見にくいのでパーセンタイルで切っていく形で決めているのか、そこら辺を教えていただきたい。単なる好奇心です。

○指導主事（佐藤誠） まず1点目の、ABCD層の分け方についてなんですけども、こちらについては、例えば握力で10キロであれば、この得点、11キロであればこの得点ということが、年齢に応じて、1年生でならこの得点、3年生であればこの得点ということで点数が決まられています。その得点に準じて合計の得点が出てくるんですけども、その合計の得点も、学年によって、1年生であれば、この得点でA評価、3年生であればこの得点でA評価というような分類のされ方がされています。

2点目ですが、正規分布になっているかどうかというところなんですけども、この結果につきましては、東京都から示されているものになりますので、完全な正規分布になっているかというところはあるんですけども、昭島市においては、こう、完全な正規分布には、あの、A、B、C、D、Eで、必ずCが真ん中で、均等に割るような、昭島市では、そういった結果にはなっていません。

○委員（松本芳之） ということは、このA、B、C、D、Eは、都が決めているというふう考えていいんですか。

○指導主事（佐藤誠） 恐らくそうだと思います。

○委員（松本芳之） おそらくこれは、パーセントで上位20から切っているような形か。それにしても、わからないんですけれども、わからなければ結構でございます。

○教育長（山下秀男） はい、ありがとうございます。

これはAからDの層について、これはこういうことを示すっていう凡例みたいなものというのを示すことってできるんですか。

○指導主事（佐藤誠） 都の調査の結果の中に、例えば、A層は何点で、Aのお子さんの何点の基準だったりと、例えば上体起こしが、何回が何点ですという基準は持っておりますので、そういったものをお示しできればと思います。

○教育長（山下秀男） そういうものを参考に御覧いただくというのもいいのかもしれないですね。

○委員（松本芳之） 要するにこれは、Aは優れている、Bはやや優れている、Cは普通というふうに言えばいいわけです。トータルな体力が非常に優れている、上位である、普通である、という捉え方でいいんですよね。

○指導主事（佐藤誠） その捉え方でよろしいかと思います。

○教育長（山下秀男） よろしいですか。  
眞如委員。

○委員（眞如むつ子） 全く違う視点から色々興味を持つんですけども、コロナ禍で、だいたい子どもたちが制限されて、そういう中で、この調査結果が出ているんですけども、1つは、学年が1つずつ上がっているの、その経年の比較というのか、そういうところですごく落ちているのか、つまり、去年1年生で、今年が2年生っていった時の、その変化が本当に下がっちゃっているのか、という、そういう小学校、中学校に関しても、そこが興味があります。

昭島市の取組としては、各小中学校、体力と、それから楽しく取り組むというところはすごく力を入れているはずなんです。で、その成果が、この体力調査の結果では東京都より下回っているというのはどうしてだろうっていう素朴な疑問を持ってしまうんですけども、きっと何かあるんだろうなと思うんですが、先ほど言いました、その経年比較のところでの、子どもたちが本当にだめなのか、相変わらずなのかということと、それから自己評価そのものが、子どもたちが、小中学生の自己評価が、この体力調査に関してどのように受け止めているんだろうっていう、そういうところの興味、関心はすごく私は持っているんですね。

今のこの結果の、色々、正規分布だとかそういうのももちろんすごく面白いことだと思うんですけど、もっと身近なところで、子どもたちが実際にはどういうところなのかっていうところがもっと出せて、それを各学校に持っていけるというのか、こういう結果ですよっていうのが伝えられればいいなという、無理なことと言っているのかもしれませんが、なんていうのかな、この結果を子どもたちにどうするのっていうところに、もうちょっと重点を置けるといいかなと。昭島市の子どもたちが本当に東京都と比べて体力がないのかって言ったら、あまりそう感じない部分がたくさんあるので、そこら辺をちょっと興味を持っております。ちょっと、まとまりのないところなんですけれども、子どもたちの自己評価というところを、もうちょっと全面に出して取り組んでいけるといいなと、そういうふうには思っております。

○教育長（山下秀男） はい。ありがとうございます。その辺の対応についてどうアクションしていくのかということ、そこを紹介いただけると。

○指導主事（佐藤誠） ありがとうございます。まず、学年ごとの、例えば1年生が、2年生に上がってどうだったかという、同じお子さんでの比較っていうのは、そこまでの分析はできていないんですけども、やはりコロナ前と、コロナ後、どこの

タイミングでというところはあるかと思うんですけども、令和元年を1つ区切りとして今年度と比べた場合に、やはり種目によっては、数値が落ちている項目もあるかと思えます。ただ、例えば、昭島市でも、柔軟性ですね、長座体前屈においては、高い数値が出ているんですけども、これについては、全国的に見ても落ちていない数値。ただ持久力であったりとか、筋力であったりとか、そういったところは落ちているというような傾向はございます。

自己評価、体力テストに対する自己評価というところで、少し観点がずれてしまうかもしれないんですけども、意識調査の中で、体育の授業が楽しいと思うと回答したお子さんの数については年々上昇している傾向があります。そこについては、東京都の調査ではあるんですけども、昭島市は、今これから分析をするところなんですけど、同じような傾向があるのかなというふうに考えています。

また、「運動やスポーツをすることが好き」と回答しているお子さんについても上昇している傾向があります。子どもたちが楽しくスポーツに取り組めるような、例えば先ほどお示しをさせていただいたようなサーキット運動であったりとか、遊びの中で子どもたちが十分にこゝ体を動かせるような取組というのを進めてまいりたいというふうに考えております。

○委員（松本芳之） これのさっきの続きで確認しようと思っていたところなんですけれども、今、眞如委員がおっしゃっていたこととも関わるんですが、ある意味、D,E層が一貫して、令和5年度と元年を比べるとかなり増えていますよね。で、これは昭島市の問題なのか、東京都全体、極端に言えば日本国全体がこういう形になっているのかっていうところがとても大切で、昭島市が落ちているんじゃないかと、コロナがらみでみんな落ちちゃってこうなっているんですよっていうことなのか。いや、全国の問題なのかについての把握はできているんでしょうかということをお聞きしたいです。

○指導主事（佐藤誠） 全国の問題かについては、まだ把握ができていない状況です。

○委員（松本芳之） いや、都。うちの中の数値の変化ではなくて、でかい母集団の中のトレンドはこうなっているのか。つまり、東京都全体が、体力が落ちこち気味になっている、それはコロナがらみで仕方がないよ。それに比べて落ちが少ないとか落ちが多いとかというところこそが、数値を見るとときに問題になるわけで、なので東京都の数値に関しては、例えば4年、2年、元年とかがあっていうのは出ているはずなので、そこら辺の分析というか視点というのは、やってなければやってないで結構ですけども、そこら辺を見ないと、この数値は読み解けないんですよ。で、どうなっていますかと。あとで結構です。

○指導主事（佐藤誠） 東京都の結果につきましても、公表はされています。経年の変化もあるんですけども、そこと昭島市の結果を比べてというところは、これから、検討してまいりたいと思います。

○教育長（山下秀男） 東京都の傾向から本市の傾向がどうなのかというところで、その

辺を客観的に見られますよね。

○委員（松本芳之） いや、不正確に今お答えいただくよりは、ちゃんとお調べいただいて改めて報告いただいたほうがいいと思います。

○指導課長（小林邦子） 体力合計点の東京都の推移を見ますと、コロナ前の令和元年度から比べると、いずれも全ての学年で、体育合計点は男子についても、女子についても、落ちている傾向があります。

ただ、東京都の減少の度合いと、昭島市の減少の度合いがどのくらい類似しているかというところは、もう少し丁寧と比較していきたいと思っています。

それと、今回は令和5年度の調査ですけれども、令和4年度、昨年度の全国体力調査の傾向を見ますと、前年度に比べて、握力や上体起こし、反復横跳び、ソフトボール投げなどは、ほぼ横ばいで、長座体前屈は向上しています。本市も長座体前屈の成績は都を上回っているので、こういった柔軟性は伸びていると思います。

それから、全国的にシャトルラン、50m走、立ち幅跳び等は落ちている傾向があり、本市も同様の傾向を示しておりますので、持久力や走力を上げてまいります。運動が楽しいと答えている子どもの割合は、昭島市は増えているという嬉しい傾向がありますので、それをもとに、体力を伸ばしていきたいと思っています。以上です。

○教育長（山下秀男） 松本委員、よろしいですか。

○委員（松本芳之） 結構です。

○教育長（山下秀男） では更なる分析が進みましたら、また改めて報告いただければと思います。

ほかにありますか。氏井委員。

○委員（氏井初枝） じゃあ、分析もまたよろしくお願ひしたいと思っています。

ぱっと見て、都より上回っている黄色いところがすごく減っているなというのが第一印象でした。それは、コロナの影響もあるのかな、でも、それは東京都全体も同じ傾向だし、なんでこの黄色がすごく減ってしまったのかなと素朴な疑問でした。

いずれにしても、運動習慣っていうのは、人生100年って言われている中で本当に大切なことなので、そういう基礎を学ぶあの小学校、中学校で、しっかり子どもたちに運動の楽しさっていうのを身につけてもらいたいなと強く願うところなんですけれども、そういうことで言うと、運動が楽しいっていう、昭島の子どもたちが多くとお話を伺って、ほっとしています。今後の対策っていうところに、色々手段をお書きいただいていますけれども、やっぱり無理のないように、子どもが本当に動くのが楽しいなっていうような気持ちになるように、学校でも家庭でも、取り組んでいただけたらありがたいなっていうことを感じてお

ります。以上です。

○教育長（山下秀男） ほかにございますか。  
紅林委員。

○委員（紅林由紀子） 私も、やはりこの網掛けの部分が、昔の昭島市の子どもたちの印象は、すごくたくさん網がかかっているなっていう印象だったので、ちょっと、あらら、というような印象があります、まあ都の平均と比較してというのは、もちろんそういう結果なんですけれども、先ほど色々お話のあったように、コロナを経て、なかなか思いっきり体を動かすっていうような活動がしにくい環境に長らくあったことは間違いないと思うので、それをこれからどうやって開拓していくかというか、体力をつけていくかというところをいろいろしていただければというふうに思いますが、やはりこの暑さもあって、なかなか休み時間に校庭で遊べない時間が、期間が結構あったりとか、夏場もやはり思いっきり外で昼間遊べるみたいな環境にもなかったり、なんか子どもが体力をつける、特にこういう俊敏性みたいなものって、やっぱ追いかけてこしたりとか、そういうところから、もちろん体育の授業とかはそうですけれども、やはり日ごろみんなが追いかけてこしたり、全員で広いところかけ回ったりみたいなところから身につくところも多いんじゃないかなっていうふうに感じるので、まあそこが、これからの時代、この子どもたちにそういうところを身につけるっていうのはなかなか厳しいなというふうに感じております。そこを体育の時間だけではなく、ここに家庭と連携してとも書いてありますけれども、本当に、家庭も、やっぱり家、そんな広くないですからね、家の中でそれを身につけるのはなかなか厳しいので、例えば、休みの日はこういうところに出かけてみましようとか、山に登ってみましようとか、なにかそういった呼びかけをしていただくとか、そんな感じで、知らず知らずのうちに、子どもたちが楽しく体力をつけられるようなイベントを、スポーツ大会みたいな、地域のスポーツ大会とか。昔、共成小地区はドッジボール大会とかありましたけども、なんかそういうのを、たくさんやっていたとか、そういう感じでみんなと連携して体力を向上していければいいなというふうに感じました。以上です。

○教育長（山下秀男） ほかにございますか。よろしいですか。それでは以上で、報告事項(3)を終わります。

次に、報告事項(4)「昭島市立学校校庭夜間照明設備使用要綱の一部改正について」事務局より説明をお願いします。

○スポーツ振興課長（吉村久実） それでは、報告事項(4)「昭島市立学校校庭夜間照明設備使用要綱の一部改正について」報告いたします。

市内小中学校の夜間照明設備の使用期間は、冬期の霜の影響等を考慮し、4月1日から11月30日までとしてきました。しかしながら、市民から冬期利用の要望が寄せられていること、グラウンドの整備状況が良好であることから、今年度より通年で使用できるよう、次の通り昭島市立学校校庭夜間照明設備使用要綱を

改正しました。

資料の新旧対照表を御覧ください。要綱第6条に定める使用期間につきまして、今まで「4月1日から11月30日までの毎日とする。」となっていたものを「1月5日から12月27日までとする。ただし、委員会が必要と認めたときは、これを変更することができる。」と改めました。実施日は令和5年11月1日でございます。

以上、報告いたします。

○教育長（山下秀男） 報告事項(4)について、説明が終わりました。本件に対する質疑、意見をお願いいたします。よろしいですね。

以上で、報告事項(4)を終わります。

次に、報告事項(5)「第69回昭島市新春駅伝競走大会について」事務局より説明をお願いします。

○スポーツ振興課長（吉村久実） それでは、第69回昭島市新春駅伝競走大会につきまして、ご報告いたします。

新春を飾るスポーツとして伝統のある新春駅伝競走大会を実施することで、スポーツの振興と地域の交流を目的に、新春駅伝競走大会を開催いたします。

主催は昭島市、昭島市教育委員会、主管は昭島市新春駅伝競走大会実行委員会でございます。実施日は令和6年1月7日 日曜日。今年度は、昨年につき2部制で実施するため、開会式は実施せず、表彰式のみ実施することといたしました。

コースにつきましては、昨年に引き続き残堀川調節池周辺周回コース、1周約2.2km、5人の継走で実施します。コースの概要は裏面をご確認ください。

種目につきましては、第1部として中学生男女の部を行います。中学生の部については参加チーム数の制限は設けません。第2部は昭島市民を対象とした、地域女子の部、壮年の部、地域の部、それから市外の方も参加可能な一般の部を今回から復活させます。参加費は1チーム5,000円、一般の部のみ6,000円とします。なお、中学生男女の部については、免除とします。

資料裏面を御覧ください。申し込みは11月1日から11月14日まで、オンラインなどで受け付けます。中学生男女の部は学校を通じてメールでの申し込みとします。この駅伝競走大会の開催にあたり、都道153号線の一部を午前8時15分から午後1時まで交通規制を行います。

周知の方法としまして、参加者募集及び、コース変更のお知らせを10月15日号広報に掲載するほか、市公式ホームページ、市公式ツイッターなどで周知してまいります。

以上、ご報告いたします。

○教育長（山下秀男） 報告事項(5)の説明が終わりました。本件に対する質疑、意見をお願いいたします。

氏井委員。

○委員（氏井初枝） 昨年見に行かせていただいて感じたことなんですけれども、以前の駅伝大会に比べて声援のほうがすごく少なかったような印象があるんです。場所が変わったばかり、1年目ということもあるのかもしれないのですが、それを受けて、やっぱり走る方にとっては、声援はすごく励みになるでしょうし、イベントそのものがすごく盛り上がって楽しい雰囲気になると思うんですけれども、そこら辺は何か、次回の時にその声援者とか何か増えるようにという手立てをお考えでしたら教えていただけたらと思います。場所的にここは難しいのかなという気もするんですけれども、何かありましたら教えてください。

○スポーツ振興課長（吉村久実） 応援の方の人数の増加につきましては、やはり参加チーム数が増えていただければ、それに関わる応援の方も増えていただけるかと思えますのでこちらとしましてはとりあえず参加チームの増加を狙っております、それによって応援の方も増えることを期待しているところでございます。

○教育長（山下秀男） ほかにございますか。  
眞如委員。

○委員（眞如むつ子） 学校にいたものとして、以前は学校の校庭を使うとか体育館を使うとか、いろいろ制約があって、お互いに厳しい部分があったと思うんですけれども、今回こうやって場所を変えられたということは、すごくいいなとは思って、去年見ておりました。昭島もこんなに広い所が、見晴らしがいい所があって気持ちがいいなと、そう思いましたので、ぜひ2年目となるので、地道に広げていっていただくと、記念公園も近いですし昭島、道の開発にもつながるのかなって勝手なことをいろいろ思うんですけれども、ぜひ続けていただきたいなと思いました。感想です。

○教育長（山下秀男） 氏井委員。

○委員（氏井初枝） 私もここは広々として気持ちがいいし、直線道路ですごく好きな場所の一つなんですけれども、だから場所を検討していただきたいとかそういうことではなくて、もっともっと駅伝大会を盛り上げるためにということで先ほども意見を申し上げたので、本当にすごく素晴らしい所なので、より楽しいというか盛り上がる駅伝大会になるよう願っています。

先ほど参加チームが少ないというお話がございましたけれども、参加チームが少ないということの理由につきまして何か把握をなさっていらっしゃるのでしょうか。

○スポーツ振興課長（吉村久実） 理由について、詳しくはわからないというのが正直なところなんですけど、コロナ禍で、3年ぶりに開催をしたということと、どうしても一般の部という、昭島市民以外の方の参加を去年はお断りをさせていただいたので、それが大きかったのではないかなと考えております。



○委員（氏井初枝） ありがとうございます。次回はたくさん参加チームも増えてということを願っております。

○教育長（山下秀男） よろしいですか。

それでは以上で、報告事項(5)を終わります。次に、報告事項(6)「昭島市民図書館・郷土資料室主催事業について」事務局より説明をお願いします。

○アキシマエンシス管理課長（岩波聡） 報告事項(6)「昭島市民図書館・郷土資料室主催事業について」御説明いたします。

1、図書館映画会です。

11月16日木曜日と19日日曜日の午後2時からアキシマエンシス国際交流教養文化棟 シアターにおいて、「お料理帖～息子に遺す記憶のレシピ～」を上映します。定員は各50名で、10月17日火曜日より申込順に受け付けます。参加費は無料です。

2、「いのちの木のあるところ」複製原画展です。

佐竹美保氏による挿絵の複製原画を、12月1日金曜日から24日日曜日まで、市民図書館内のメディアウォールにて展示します。

3、子ども読書活動推進事業「杉山 亮 ものがたりライブ」です。

12月3日日曜日の午後1時30分から3時に、アキシマエンシス体育館において行います。定員は100名で、11月4日土曜日より申込順で受け付けます。参加費は無料です。

4、子ども読書活動推進事業「3～6才向け図書館映画会」です。

12月9日土曜日の午前10時30分からと午後2時から、アキシマエンシス国際交流教養文化棟 シアターにおいて、ムーミン谷とウィンターワンダーランドを上映します。定員は各50名、申込不要、先着順です。参加費は無料です。

5、絵本と大人の素敵な関係「ハーブの調べにのせて」です。

12月10日日曜日の、午後2時から4時に、アキシマエンシス国際交流教養文化棟 交流ひろばにおいて、絵本セラピスト山本潤子氏と、ハーブ奏者柴崎なのみ氏を招いて開催します。定員は35名で、11月10日金曜日より申込順で受け付けます。参加費は無料です。

6、郷土資料室企画展「化石薄片展」です。

10月31日火曜日から令和6年1月28日日曜日まで、アキシマエンシス国際交流教養文化棟 郷土資料室において展示します。

なお、事業の問い合わせ先は、市民図書館 電話 042-543-1523 となっております。

説明は以上でございます。

○教育長（山下秀男） 報告事項(6)の説明が終わりました。本件に対する質疑、意見をお願いいたします。

特にないので、以上で報告事項(6)を終わります。

次に、報告事項(7)「昭島市公民館主催事業について」事務局より説明をお願いします。

○市民会館・公民館長（立川豊） 報告事項(7)「昭島市公民館主催事業について」御報告させていただきます。

お手元の資料7を御覧ください。事業が4点ございます。1点目は「公民館保育室であそぼう」という事業です。こちらは公民館内にある保育室を開放し、市内在住・在勤の未就学児の親子に参加していただき、保育室を知っていただくという趣旨で企画しております。10月22日、日曜日、午前10時より公民館で行います。申し込みは不要です。

2点目はシニア講座「スマホ体験教室」でございます。60歳以上で、スマホを持っていない方、使い始めて間もない方を対象としています。日時は11月8日、水曜日と15日、水曜日のコースと、11月22日、水曜日、12月6日、水曜日のコースのどちらかを選んでいただきます。定員は各回20名となっており、多数抽選となります。講義では一人1台ずつ、教材用のスマホをお貸しし、電話の仕方やカメラ、地図の使い方を学びます。会場は公民館学習会議室で開催いたします。申し込みは10月4日より受け付けております。

そして3点目は市民大学公開講座でテーマは「知りたい、学びたい、福祉のいま！」でございます。こちらは市民大学第10期の終了グループが企画運営し、子どもの貧困や介護保険など福祉のことを学びます。会場は公民館学習会議室で、定員は40名、申し込み多数の場合は抽選となります。

4点目は教育文化セミナー「ハーモニーを学ぼう！」です。講師は、昨年ふれあいコンサートで歌っていただいたアカペラコーラス「Niece（ニース）」というグループでございます。このセミナーでは、歌だけでなく発声練習なども学んで、クリスマスソングなどを歌えるように練習します。こちらは1回の講座で3日あり、11月18日、土曜日、25日、土曜日、12月10日、土曜日となっております。時間は午後2時からで、会場は公民館集会室、定員は20名で申し込み順となっております。

以上となります。

○教育長（山下秀男） 報告事項(7)の説明が終わりました。本件に対する質疑、意見を願います。

よろしいですか。

特にないようですので、以上で、報告事項(7)を終わります。

次の、報告事項(8)「令和6年度予算編成方針について」から(11)「FOSTERホール ホールインフォメーション」までの4件につきましては、資料配布のみとしておりますが、御意見等あれば、発言をお願いいたします。よろしいですか。

報告事項は、以上となります。

次に、日程6「その他」に入ります。委員の皆様から、全体を通して何かございましたら、発言をお願いいたします。

よろしいですか。

最後に、次回の教育委員会の日程について、事務局より説明をお願いします。

○学校教育部長（高橋功） 次回の、令和5年第11回教育委員会定例会につきましては、令和5年11月16日、木曜日、午後2時30分から市役所市民ホールにおいて開催いたします。

また、定例会終了後、同会場におきまして、教育委員会と傍聴者との懇談会を開催いたします。

○教育長（山下秀男） 次回の本定例会につきましては、11月16日の木曜日、午後2時30分から市役所市民ホールにおいて開催をいたします。定例会終了後には教育委員会と傍聴者の皆様との恒例の懇談会を開催いたしますので、スケジュールの調整方よろしく願いいたします。

以上で本日の日程はすべて終了いたしましたので、これをもちまして、令和5年昭島市教育委員会第10回定例会を閉会といたします。本日はありがとうございました。

以上



年 月 日

署 名 委 員

4 番 委 員

5 番 委 員

調 整 担 当